

## 会場装飾：千住博氏（日本画家）



千住博氏

写真：  
山口和也撮影

- 1958年 東京生まれ
- 1995年 現代美術のオリンピックといわれる創立100周年の第46回ヴェネチア・ビエンナーレで、東洋人として初めて絵画部門での名誉賞を受賞
- 2002年 大徳寺聚光院別院の襖絵77面完成
- 2004年 羽田空港第2ターミナルのアートプロデュースを担当
- 2007年 アメリカ建国200周年記念事業として、フィラデルフィアに永久保存となる「松風荘」の襖絵完成
- 2010年 羽田空港新国際線ターミナルのアートプロデュースを担当

現在、京都造形芸術大学学長。ニューヨーク在住

# 会場装飾:「はやぶさ」帰還カプセル

## 【はやぶさ】

小惑星探査を目的に開発された宇宙探査機。  
世界で初めて、月以外の天体に着陸後、地球帰還(約60億km)。

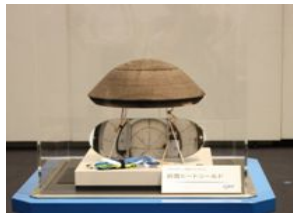
2003年 5月 打ち上げ  
2005年11月 小惑星イトカワに着陸、離陸。  
2010年 6月 地球に帰還

小惑星イトカワ



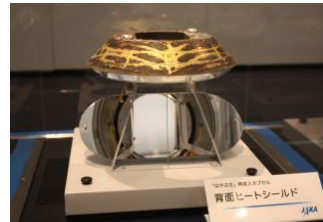
## 【展示する帰還カプセル等】

前面ヒートシールド



「下側の耐熱カバー」  
大気圏突入時の加熱からカプセルを守った。

背面ヒートシールド



「上側の耐熱カバー」  
パラシュートを引き出す役割も有った。

パラシュート



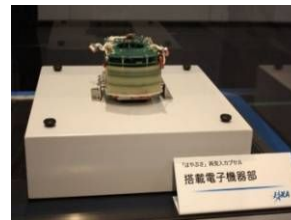
「着地用パラシュート」  
上空5Kmから十数分かけてカプセルを安全に着地させた。

インストゥルメントモジュール



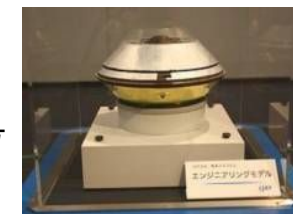
「カプセル本体部分」  
サンプルコンテナ、パラシュート等を収納。

搭載電子機器部



「カプセル心臓部」  
地球からの指令信号を受け取った。

エンジニアリングモデル



「試験用モデル」  
ヒートシールドは本物と同じ材料、形状で作られている。

写真提供: JAXA

外務省、経済産業省

# 文化行事

## 【日時】

11月13日(土) 首脳夕食会前

## 【行事内容】

歌舞伎公演

1. 演目:「連獅子」

2. 出演者: 中村勘三郎丈、中村勘太郎丈、中村七之助丈、片岡亀蔵丈、坂東彌十郎丈 他



(中村勘三郎)



(中村勘太郎)



(中村七之助)



(片岡亀蔵)



(坂東彌十郎)



＜中村勘三郎親子による連獅子＞

※「親獅子」が「仔獅子」を千尋の谷に突き落とし、駆け上がってきた「仔獅子」だけを育てるという故事に基づく。中村勘三郎丈が「親獅子」、勘太郎・七之助丈兄弟が「仔獅子」に扮する、当代中村屋ならではの三人組の「連獅子」。

中村勘三郎丈が、APEC首脳に披露する「連獅子」や、海外との文化交流について語っています。  
APEC公式ホームページ > 中村勘三郎に聞く「APECと21世紀の和」

# ガウンドレス

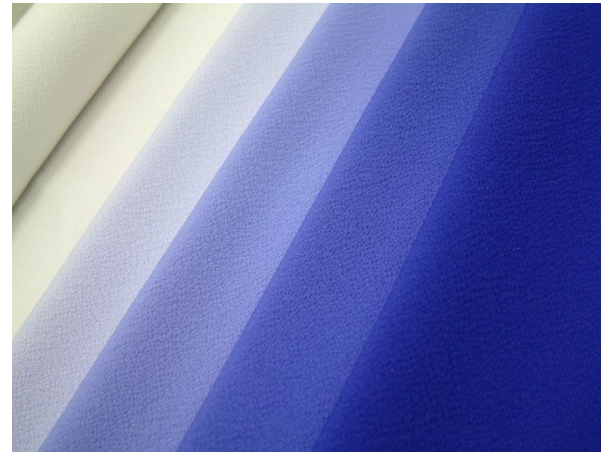
首脳配偶者用衣装

〈デザイン〉

コシノヒロコ氏

〈素材〉

- 帝人グループが開発した植物由来繊維「バイオフロント」と伝統的な絹織物「丹後ちりめん」を組み合わせた新開発のエコ素材を使用。  
→日本の伝統技術と先端技術の融合をアピール。
- 地元(京丹後市)の活性化にも寄与。



バイオフロントと丹後ちりめんを融合させた新開発のエコ素材